

平成 27 年度 学校法人静岡県西遠女子学園事業報告書

1. 教育目標

建学の精神「婦人の中に未来の人は眠れり」のもと、静岡県西部地区で唯一の中高一貫の女子校として、品位ある女性の育成、自主性・自立性を有する女性の育成、高い志を持った女性の育成を目指す。

2. 設置学校及び生徒在籍状況

静岡県西遠女子学園高等学校・静岡県西遠女子学園中学校

生徒数（平成 27 年 5 月 1 日現在）

	1 年	2 年	3 年	合計
高等学校	1 4 7 名	1 2 9 名	1 4 5 名	4 2 1 名
中学校	1 0 7 名	1 1 7 名	1 2 8 名	3 5 2 名

3. 役員・教職員状況

(1) 役員

理事 8 名

理事長 岡本忍

理事 岡本肇、中山正邦、小杉昌弘、中村雄次、伊藤憲司、熊岡邑子、大庭知世

監事 2 名

久野憲一、富永壽一

(2) 役員会開催状況

平成 27 年 5 月 25 日

平成 27 年度第 1 回学校法人理事会・評議員会

平成 27 年 12 月 27 日

平成 27 年度第 2 回学校法人理事会・評議員会

平成 28 年 3 月 11 日

平成 27 年度第 3 回学校法人理事会・評議員会

(3) 教職員数

教員

	校長	教頭	教員	常勤講師	非常勤講師	スクールカウンセラー	計
高等学校	1 名	1 名	2 5 名	4 名	8 名		3 9 名
中学校		1 名	1 7 名	3 名	9 名	1 名	3 1 名

職員

	事務長	事務職員	司書	用務員	計
高等学校	1 名	3 名			4 名
中学校		2 名	1 名	1 名	4 名

4. 事業概要

(1) 学校組織の変更

- ・総務部を教務部に名称変更するとともに、校務分掌を整理・再編し学習指導と教員研修を向上させる役割を明確化した。
- ・学校全体の教員内容を中長期的な展望から議論する場として、学習高度化プロジェクト、全人教育プロジェクトをそれぞれ立ち上げた。

(2) 教員研修の強化

- ・静岡大学教育学部 山崎保寿教授の指導のもと「大目標:授業の充実による学力の向上」「小目標:アクティブラーニングによって言語活動を充実させる授業の研修」というテーマで年間を通して、授業研究と研修を行った。
- ・授業研究は昨年のお二倍にあたる 4 教科で行い、その成果を冊子「学習指導と教員研修 1」としてまとめ、生徒募集をはじめ広く外部へも説明した。

(3) 中学・高校教科課程とクラス編成

- ・中学では、平成 27 年度より始めた従来の一部変則的な教科編成及び授業時数の変更による教科課程改変が完了した。
- ・新高校 1 年生は、大学受験の多様化と進学希望の変化に対応して「化学基礎」(3 単位)を全員必修とした。
- ・新高校 2 年生を 4 学級編成とし、私立文系コース 2 クラス(菊 38 名、藤 37 名)、国公立文系コース 1 クラス(星 31 名)、理系 1 クラス(雪 22 名)とした。

(4) 行事の更新

- ・中高一貫校としてのメリットを活かすために、春の遠足では、明治村で異学年グループ(姉妹グループ)による活動を行い、上級生にはリーダーシップを下級生にはフォロワーシップの涵養を行った。
- ・中 2 年生の夏の校外行事として平成 9 年度から 18 年続いた富士山林間学校にかわり、新しい取り組みとしてイングリッシュサマーキャンプを行った。本校生徒数人に対して 1 人のアメリカの教育系大学の学生をメンターとして、合宿形式で寝食をともにしながら英語だけのコミュニケーションと異文化体験を行った。次年度のオーストラリア研修旅行・語学研修を前に外国語によるコミュニケーションや語学に対する意識付けを行い、国際教育を効果的かつ体系的なものにした。

(5) 部活動の実績

バレーボール部(中学)

平成 27 年度静岡県中学校バレーボール選手権大会 優勝

平成 27 年度静岡県中学校総合体育大会バレーボールの部 優勝

平成 27 年度静岡県中学校新人バレーボール大会 優勝

硬式テニス部(中学)

第 64 回東海地区中学生テニス選手権大会団体戦 4 位

第 42 回全国中学生テニス選手権大会 出場

第 1 回全国私立中学校選手権大会東海大会静岡県予選大会団体戦 優勝

ギター・マンドリン部

平成 27 年度全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクール 優秀賞・大阪市長賞
第 33 回東海選抜高等学校ギター・マンドリンフェスティバル 優秀賞・県知事賞
演劇部（高校）

第 55 回静岡県西部高等学校演劇協議会発表会 優秀賞

第 39 回高等学校演劇研究大会平成 27 年度静岡県高等学校文化祭演劇部門 優良賞